

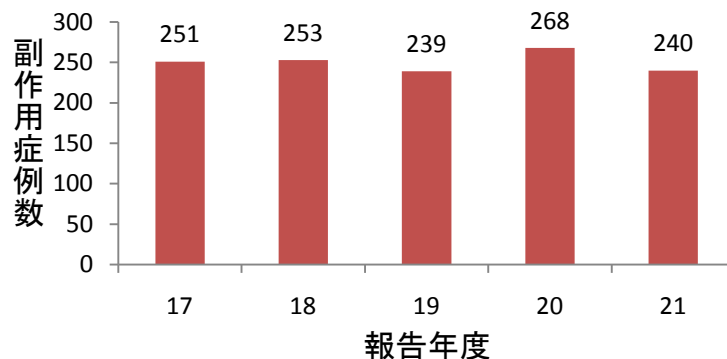
一般用医薬品の副作用報告状況

1. 一般用医薬品における薬効群別副作用症例数の状況(平成17年度から平成21年度)

薬効分類	副作用症例数	主な副作用
総合感冒剤(かぜ薬)	456	スティーブンス・ジョンソン症候群、急性腎不全、肝不全等
解熱鎮痛消炎剤	240	スティーブンス・ジョンソン症候群、間質性肺疾患、肝障害等
漢方製剤	89	間質性肺疾患、肝機能異常、中毒性表皮壊死症等
禁煙補助剤	56	脳梗塞、自殺念慮、狭心症等
耳鼻科用剤	51	アナフィラキシー反応、脳出血、間質性肺疾患等
健胃消化剤	47	アナフィラキシー反応、中毒性表皮壊死症、急性肝炎等
鎮咳去たん剤	31	アナフィラキシーショック、スティーブンス・ジョンソン症候群、全身性皮疹等
下剤、浣腸剤	25	直腸穿孔、腸管機能障害、下痢等
鎮痛、鎮痒、収れん、消炎剤	25	尿細管間質性腎炎、多形紅斑、接触性皮膚炎等
その他	231	
合計	1,251	

- 注) 1. 副作用報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め製造販売業者から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。
 2. データは、平成22年11月時点での集計値。

2. 一般用医薬品による副作用報告(副作用症例数)の年次推移



3. 一般用医薬品のリスク区分別副作用症例数と具体例 (平成21年度)

年度	副作用症例数(括弧内は副作用件数)	リスク区分	副作用症例数(括弧内は副作用件数)
平成21年度	240 (310)	第1類	20 (35)
		第2類	201 (249)
		第3類	19 (26)

- 注) 1. 副作用については、1症例で複数の副作用を発現する場合がありますため、「副作用件数」は「副作用症例数」よりも多くなる
2. データは、平成22年11月時点での集計値。

第1類医薬品で報告されている副作用

	副作用名	件数
1	浮動性めまい	3件
2	うつ病	2件
3	自殺念慮	2件
4	頭痛	2件
5	動悸	2件
6	スティーブンスジョンソン 等	各1件 で24件

第2類医薬品で報告されている副作用

	副作用名	件数
1	薬疹	24件
2	スティーブンスジョンソン	23件
3	肝機能異常	23件
4	肝障害	21件
5	中毒性表皮壊死融解症	14件
6	アナフィラキシーショック	13件
7	アナフィラキシー反応	10件
8	皮膚粘膜眼症候群	8件
9	多形紅斑	7件
10	急性肝炎 等	各4件 で12件
11	その他	147件

第3類医薬品で報告されている副作用

	副作用名	件数
1	胃潰瘍	2件
2	嘔吐	2件
3	接触性皮膚炎	2件
4	肝障害	2件
5	肝機能異常 等	各1件 で18件